

第16章 Lの呼称について

(1) Lの呼称廃止の理由と現状対処

ライオンズクラブ会員の氏名の前にL（ライオン）の文字を付けたり、氏名の前後に「ライオン」という呼称を付ける習慣は、336 複合地区および同複合地区内準地区キャビネット主催の諸会合では、廃止しようと申し合わされています。

使用しなくなった主な理由としては、次のようなことが考えられます。

- ・ 国際的交流の多いライオンズクラブの諸会合で、名前の前にLを書き加えると、英文の場合、名前のスペルを間違えたことになる。
- ・ 女性会員にLの呼称を付けることに違和感を覚える。
- ・ 一般の人に奇異な感じを与え、ライオンズクラブに対し閉鎖的組織の印象を与える。

336 複合地区内のクラブにおいても、「ライオン」の呼称を廃止するクラブが増えてきており、例会などでも、親しみやすい「さん」付けで呼ぶといった傾向になってきています。

しかし、全日本レベルの会合においてLの呼称が使われている、あるいは、ライオン誌日本語版で氏名の前に「ライオン」という文字が付けられている、また、ライオンと呼ばれることに誇りを感じている等の理由で、L（ライオン）の呼称を使用しているクラブもあります。

また他クラブ訪問時や、初対面あるいは年の差が歴然としている時など「〇〇さん」と呼ぶことに抵抗感を覚える場合も多く、その場合L〇〇や〇〇Lと呼称した方が無難と判断する傾向もあり、全てにLの呼称廃止には至っていない実情もあります。

いずれにしても、クラブ・メンバーの自主性を尊重すべき問題ですが、基本的にライオンズ会員以外の方が同席されている場合には使用しないというのが、最低限のマナーではないかと思われます。

(2) Lに代わる呼称の一例

Lの呼称の取り扱いは各クラブが自主的に判断すべきものですが、参考までに、Lを廃止した場合の呼称の例を記しておきます。

- ① 例会等で呼ぶ場合の例 〇〇〇〇さん
- ② 例会を含む公式会合で、役職者を紹介する場合 〇〇〇〇会長
(※ 役職名を氏名の後へ付ける)
- ③ 出席者名簿に記載例 地区ガバナー 〇〇〇〇
(※ この場合は、(敬称略)の記載が必要)

出席者名簿に従って紹介の場合は、②の例（役職名を氏名の後へ付ける）が望ましいでしょう。③のように敬称省略を断り、記載通り読み上げる方法は、一般的にはあまり行われません。